

第1学年C組 音楽科学習指導案

指導者 中安 統

1 題材名 全体の響きを感じ取り合唱表現を工夫しよう
～混声3部合唱に挑戦しよう～

2 題材の目標

パートの役割を感じ取り、よい合唱にするためにはどうすればよいかを考えたり、それらを実践したりする活動を通して、主体的な音楽活動の仕方を身につけさせるとともに、合唱表現力を高める。

3 題材構成について

(1) 生徒観

先日のこのクラスの生徒に対するアンケートでは、音楽の時間が好きと答えた生徒が26人中24人、ふつうと答えた生徒が2人で、その理由は、ほとんどが「歌ったり楽器を演奏したりするのが楽しい」である。歌うことが好きと答えた生徒は26人中23人、ふつうと答えた生徒が3人で、その理由は「楽しい」とか「すっきりする、気持ちいい」などである。合唱については、好きと答えた生徒が26人中23人、ふつうと答えた生徒が1人、嫌いと答えた生徒が2人、好きと答えた生徒の理由は「ハモると気持ちいい。」「全員で歌えるから楽しい。」「みんなと心が一つになれるからいい。」嫌いな理由は、「音程を気にして歌わないといけなから。」「音量などいろいろ合わせるのが大変だから。」である。このようにほとんどの生徒は今までの体験から歌うこと、合唱することは楽しいものだとして認識している。歌唱においては変声の時期でもあり、歌いにくそうにしている生徒も多少おり、やや消極的と思われる生徒もいるが、全体的には楽しんで歌っていると言える。

混声3部合唱には初めての取り組みだと思うが、好きな合唱を自分たちの手でよりよい合唱に仕上げていくことにより、表現力を高めていきたい。更に合唱が嫌いだと答えた生徒にもこの活動をとおして合唱することの楽しさ、よろこびを味わわせたい。

(2) 題材観

歌唱表現にはいろいろあるが、独唱のように、自分ひとりで考え、自分の力で自分の思うがままに表現するのは違い、合唱の場合は、全体の響きを考え、合わせて歌わなければならない難しさがある。しかし、独唱では味わえないハーモニー感や一体感のすばらしさを体感することができる。音楽を感じ取り、みんなが同じ目標に向かって工夫しながら表現し、また聴いてみる。この過程のくり返しにより合唱表現する力を高めることができるものと考えられる。

(3) 指導観

「声部の役割を感じ取り、全体の響きに気をつけて合唱すること」は容易なことではないが、本題材によって、自分の受け持つ声部の歌い方だけではなく、他の声部の歌い方にも関心を持ち、さらには合唱全体の響きに関心を持って、よりよい合唱をつくりあげていく（豊かな響きを追求する）過程そのものに歌うことの楽しさや喜びを味わわせることができると考える。

今までは、斉唱や2部合唱の曲を歌ってきたが、混声3部合唱ははじめてで、自分たちで練習するパート練習というのも初めての体験である。パートリーダーを中心に、パート別の範唱CDを使用して練習する。自分の受け持つ声部の役割を自覚し、ひとりひとりが責任をもってよいものに仕上げようとする主体的な音楽活動の仕方を学ばせ、夏休み明けからは合唱コンクールに向けて充実した活動ができるようにさせたいものと思っている。

生徒一人一人が真剣に考え、意見を出し合いながら歌ってみて、そして聴いてみることにより主体的な合唱活動ができるのであろうし、そのことによって、自分たちで表現する楽しさや喜びを味わわせたい。

学習活動が主体的、能率的で深まりのあるものにするため、活動の展開に伴って学習形態が変化する。全体での合唱形態、パート別での活動形態、パート毎の発表形態などである。

注意すべき点として、変声期の時期でもあるので、生徒活動の中で、うまく発声できない生徒を責めたり、消極的になったりしないよう教師が支援していきたい。

4 教材について

「マイ バラード」

音楽教師であり作曲家の松井孝夫の作品。仲間呼びかけのような歌いだしではじまり、途中から三連符で力強く前向きな気持ちとリズムで歌い、後半は歌詞のとおり世界中に広がっていくようにおおらかな気持ちで歌い終わる。「みんなで心をつにして歌えば、気持ちは通じ合えるし、悲しいことだってつらいことだって乗り越えていけるさ」というイメージの歌詞は主体的な音楽活動や、協力してクラスの団結力を強めるためにも最適な曲と言える。

6 本時の計画

(1) ねらい

よりよい合唱にするために、歌い方を工夫しながら自分のパートの旋律を歌うことができる。

(2) 学習過程

学習形態	学習活動	教師のかかわり	評価の観点
一斉	<ul style="list-style-type: none"> 既習曲「明日という大空」を歌う。 <p>学習のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 十分に声を出すよう言葉をかける。 学習のめあてをしっかりと理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 十分な声量で歌うことができる。 めあてが何であるか理解することができる。
パート別	<ul style="list-style-type: none"> 前時に録音した自分たちの「マイ バラード」の演奏を聴き、演奏上の問題点や改善すべき点をメモする。 気づいたことを話し合う。 (司会者が進める。) <p>改善すべき点</p> <p>よくする方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題点を解決し、表現を向上させるための活動をどうするか確認し、パートごとに練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前もって楽譜に小節番号を書かせておく。 学習カードを準備し、話し合いがしやすいようにする。 司会が説明不足のときは、教師が補足する。 <p>・パートリーダーを中心とした活動ができるよう助言する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> よりよい合唱を目指し、表現の工夫をしようと意欲的であるか。(行動観察・発言)
一斉	<ul style="list-style-type: none"> 合唱を録音する。 録音を聴く。 本時の学習を振り返る。 		<ul style="list-style-type: none"> 表現の工夫をいかし合唱することができたか(行動観察・学習カード)

5 学習活動と評価計画（総時数 4 時間）

		音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力	題材の評価基準				使用する教材
						(ア)音楽への関心・意欲・態度	(イ)音楽的な感受や表現の工夫	(ウ)表現の技能	(エ)鑑賞の能力	「マイ パラード」
						他の声部とのかかわりや全体の響きを感じ取り、合唱表現に意欲的に取り組もうとしている。	他の声部とのかかわりや全体の響きを感じ取り、合唱表現を工夫しようとしている。	他の声部とのかかわりや全体の響きを感じ取り、合唱表現をする技能を身につけている。	他の声部とのかかわりや全体の響きを感じ取り、表現活動に生かせる要素を見出しながら聴いている。	
時数	学習のねらい	学習形態	主な学習活動	学習活動における評価規準（評価の方法）* 主になるもの				努力を要する生徒への手立て		
				(ア)音楽への関心・意欲・態度	(イ)音楽的な感受や表現の工夫	(ウ)表現の技能	(エ)鑑賞の能力			
2	発声や発音に気をつけて、自分のパートを正しい音程で歌えるようにする。	一斉	既習曲をのびのびと歌い、歌いやすい雰囲気づくりをする。	・きれいな響きを目指して進んで歌おうとしている。 (態度や表情の観察・学習カード)	・歌詞からイメージをつくる ことができる。 (行動観察・発言)			・安心して声が出せるようにそばで一緒に歌ったり、周りの生徒に働きかけたりして、かかわりを持たせるようにする。		
		一斉グループ	歌詞を読み、イメージづくりをする。 合唱曲の各パートの音取りをする。 ・範唱 CD を使用して一緒に歌う。							
			各パートの音程を確認し、パート練習をする。 ・伴奏に合わせて歌う。				・のびのびとした発声で自分のパートの旋律を歌っている。 (行動観察)	・そばで旋律を一緒に歌ったり、声かけをしたりし、歌おうとする意欲を持たせるようにする。		
2 本時 / 2	自分のパートの役割を意識しながら合唱したり表現の工夫を合唱に生かしたりすることができるようにする。		各パートの音程を確認し、合唱する。 ・お互いのパートを聴きあう。 ・パートの役割を意識しながら合唱する。 ・音程がうまく取れていないところや難しい部分を取り上げて練習する。		・他の声部とのかかわりや全体の響きを感じ取っている。 (行動観察・発言)		・主旋律を意識しながら合唱している。 (行動観察)	・自分のパートの役割に注目させるようことばかけをする。 パートでどういうことに重点をおいて取り組んでいるか気づかせるよう声かけをする。		
			よりよい合唱をめざし、表現を考えながら合唱する。 ・前時に録音した自分たちの演奏を聴き、演奏上の問題点や改善すべき点について話し合う。 ・表現を工夫しパート練習する。 ・表現の工夫を合唱で伝えられるよう練習し、再度録音する。	・自分たちの合唱をよくしようと真剣に考えている。 (発言、学習カード)	・自分たちの曲のイメージや曲の雰囲気を生かし、表現を工夫している。 (行動観察・歌唱表現)		・表現を豊かにするために必要なことを意識して聴くことができる。	・周りの生徒の意見を聞こうとする姿勢、歌唱表現を工夫しようとする姿勢を評価していきたい。		